

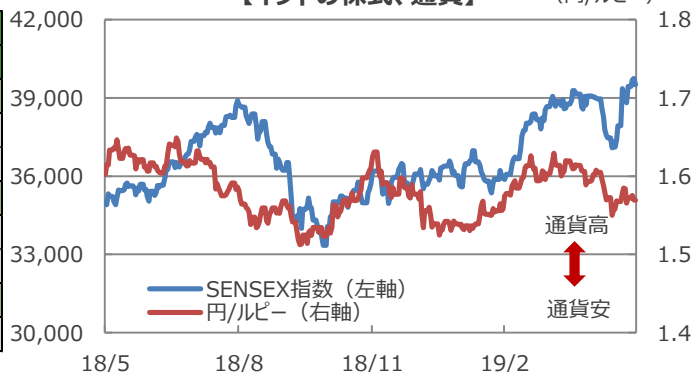
今日のトピック インド株式市場は総選挙を受け上昇（2019年5月後半） 与党の圧勝を好感して最高値更新

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	5月29日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.57	▲0.9	▲1.6	▲3.4	▲2.1
ルピー/米ドル (ルピー)	69.83	0.2	▲0.3	▲0.0	2.9
金利 (%)					
政策金利	6.00	0.00	0.00	▲0.50	0.00
10年国債利回り	7.13	▲0.13	▲0.28	▲0.48	▲0.63
株式指数					
SENSEX (ポイント)	39,502	1.0	1.1	9.2	13.0

(注) データは2019年5月29日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【インドの株式、通貨】 (ポイント) (円/ルピー)



(注) データは2018年5月29日～2019年5月29日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 株式市場は最高値更新 総選挙での与党圧勝を好感

- 5月のインド株式市場は、米中貿易摩擦の激化懸念から月前半に急落しましたが、注目された5年に一度の総選挙で与党勝利の見方が強まったことから急反発しました。20日には与党連合が過半数を獲得するとの出口調査を受けて、主要株価指数のSENSEXが過去最高値を更新しました。23日の開票では、予想を上回る与党圧勝の見通しが伝わると、SENSEX指数は取引時間中に、一時初めて40,000ポイントを超えました。その後利食いに押されたものの、月末にかけてジリ高となり、28日に引け値ベースの最高値を再び更新しました。5月のパフォーマンスをみると、モディ首相の選挙公約である大型インフラ投資への期待などから、インフラ関連銘柄や金融銘柄がSENSEX指数の上昇をけん引しました。

ポイント2 海外投資家の買い越し続く

- 海外投資家のインド株への投資動向をみると、総選挙の前後で大幅な買い越しとなっています。2月のパキスタンとの紛争で、モディ首相が強気の姿勢をアピールして与党の支持率が上昇したことを受けて、海外投資家の姿勢が買いに転換して以降、買い越し基調が続いています。総選挙で与党が圧勝したため、2期目のモディ政権への期待から、今後も海外投資家の買い越しは続きそうです。

今後の展開 経済政策期待から株式市場は堅調

- モディ首相は、2期目の選挙公約で160兆円相当のインフラ投資を掲げており、大規模な経済政策への期待などから株式市場は今後も堅調な推移が見込まれます。モディ政権の継続が決まったことで、株式市場には買い安心感が広がり、海外投資家の資金流入が継続するとみられ、好地合いが続きそうです。

ここもチェック! 2019年5月24日 インド総選挙、与党が圧勝
2019年5月14日 インド株式市場は調整（2019年5月前半）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。